

日本海洋学会海洋生物学研究会主催

海洋生物シンポジウム2018

日時： 2018年3月24日 10時～ 25日 12時15分

会場： 東京海洋大学 白鷹館

プログラム (案)

海洋生物学研究会会長挨拶 杉崎 宏哉

日本海洋学会会長挨拶 日比谷紀之

基調講演 高木悠花 化石に残るプランクトン浮遊性有孔虫～その生き様を探る～

(10:10~10:50)

一般講演

発表者	演題
座長 伊佐田智規	
10:50 高山佳樹	相模湾真鶴港に出現する かいあし類 <i>Acartia japonica</i> が生産する 3種類
11:05 美川真奈	相模湾と黒潮内域における浮遊性カイアシ類 <i>Calanus sinicus</i> の卵サイズ
11:20 有馬大地	2016-2017年におけるオホーツクタワー周辺の動物プランクトンおよび休眠卵の動態について
11:35 綱島歩美	東京湾における浮遊性カイアシ類 <i>Acartia omorii</i> の季節的消長と卵生産速度
11:50 西部裕一郎	大槌湾におけるカイアシ類 <i>Acartia hudsonica</i> の卵休眠と生活史
昼 食	
座長 土屋健司	
13:15 渡辺 剛	西部北太平洋の亜熱帯外洋における珪藻の群集組成
13:30 山崎大輔	東京湾における珪藻を宿主とする寄生性微小鞭毛虫の単離培養
13:45 野坂裕一	2015年宮城県石巻市の万石浦における基礎生産力と浮游粒子濃度の季節変化
14:00 森雄太郎	塩分の異なる環境下でのヤマトシジミ(<i>Corbicula japonica</i>)の成長評価
14:15 小原静夏	備後灘における基礎生産速度とその制限要因の解析

座長 渡辺 剛

- 14:30 伊佐田智規 親潮域春季ブルームにおける水塊変化に伴う植物プランクトン群集組成および光合成生理特性の変化
- 14:45 土屋健司 夏季沿岸域における溶存態有機物の分子量分布
- 15:00 和田茂樹 プランクトン群集の変化と泡による溶存態有機物の粒子化の関係
- 15:15 休 憩
- 15:30 山家拓人 海洋酸性化が亜寒帯沿岸域に及ぼす影響の評価・予測
- 15:45 梅原 亮 海域特性の異なる沿岸域における有色溶存有機物 (CDOM) の動態および起源

座長 宮本洋臣

- 16:00 滝野翔大 餌サイズ・食性別炭素・窒素安定同位体比に基づく黒潮周辺海域プランクトン食物網構造の推定
- 16:15 中村賢一 カイアシ類アンモニア排泄速度に与える飼育実験条件の影響
- 16:30 平原南萌 内湾性かいあし類はエネルギー蓄積を行うか？
- 16:45 井川裕介 相模湾におけるユーカラヌス属カイアシ類 2 種の個体群動態と卵生産

3月25日

座長 西内 耕

- 10:00 中野雄貴 マボヤ *Halocynthia roretzi* の摂餌特性と志津川湾の炭素循環における役割
- 10:15 米田壮汰 粒子食性カラヌス目カイアシ類の口器付属肢の形態計測学的分析：摂餌様式に関する考察
- 10:30 大竹詩織 浮遊性ヤムシ類の遊泳行動比較および捕食行動観察
- 10:45 松野孝平 ZooSCAN による動物プランクトン群集評価の検討

座長 野阪裕一

- 11:00 郭 農穎 Development of a growth-migration model for Pacific chub mackerel *Scomber japonicus*
- 11:15 西内 耕 東シナ海陸棚域におけるオキアミ類の水平分布～卓上式 VPR による解析の試み～
- 11:30 宮本洋臣 サンマの北上回遊期における摂餌生態
- 11:45 綿貫 豊 ハダカイワシ類は海鳥にとって重要な餌か？

学生優秀発表賞表彰式

閉会